

文字摺通信

第 82 号

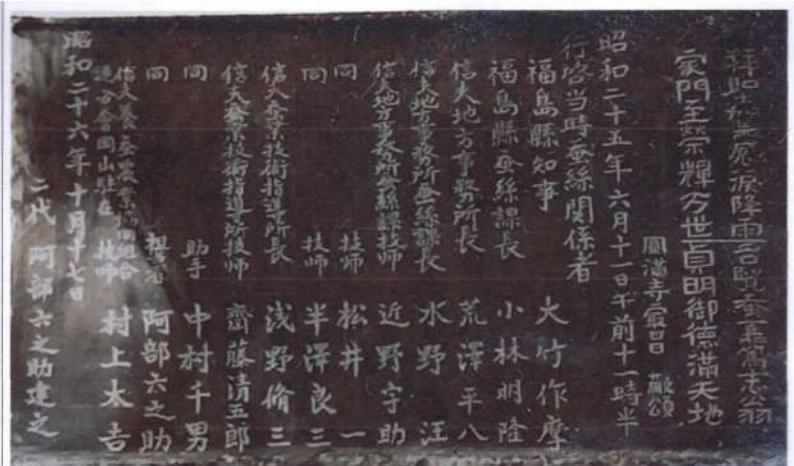
2025年 2月15日

発行:文字摺歴史文化社

「大正皇太后陛下行啓記念碑」(岡部字倉ノ内)と 蚕糸試験場福島支場・蚕糸技術指導所

文知摺地区歴史研究会12月例会は文化財巡りで、最初に岡部字倉ノ内の阿部さん宅にある「大正皇太后陛下行啓記念碑」を見学しました。この碑は、昭和25年6月に大日本蚕糸会総裁貞明皇太后(昭和天皇の母)が蚕糸業の現場視察のために来福したもので、新聞報道によると、本県三日目のこの日は、飯坂温泉花水館を出て、伊達崎村大槻真二方で春繭を、栗野村桃井常之助方で桑園を、梁川町大竹啓助方で蚕室を視察し、伊達蚕種協同組合で小休止、そして岡部の阿部六之助さん宅で屋外飼育を視察し、文知摺観音を見学、宿舎花水館に戻る日程でした。

御当主の阿部さんから石碑や皇太后視察の話、桑園が東部給食センターの方まであった話などを聞き、また大切に保管されていた当日の写真を見せてもらいました。阿部さんの話の中で、給食センターあたりまで桑園でした、とあり、この辺はほとんどが桑畑だったはずだけど、どうして給食センターあたりまで桑園だったと説明するのか、違和感を感じましたが、帰宅後石碑の裏の文面(右写真:信夫蚕業技術指導所担当者阿部六之助)や蚕糸試験場の資料を読み、いろいろ考えました。



昭和二十五年六月十一日午前十一時半
← 養野所長よりご説明でご覧になる

【右写真】阿部さん宅でみせていただいた写真。

【左写真】
昭和25年6月
12日福島民報